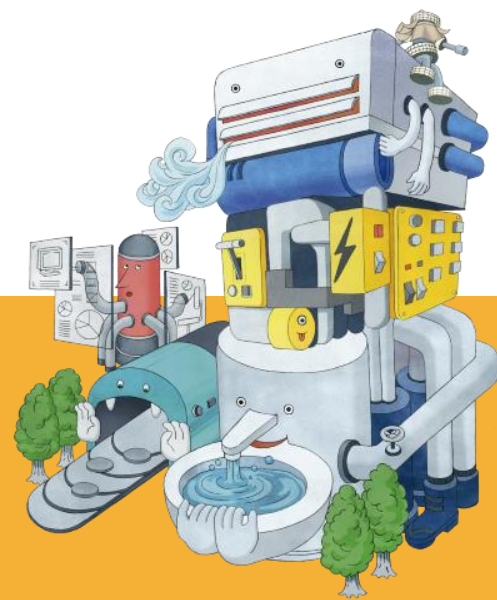


中期経営計画進捗状況

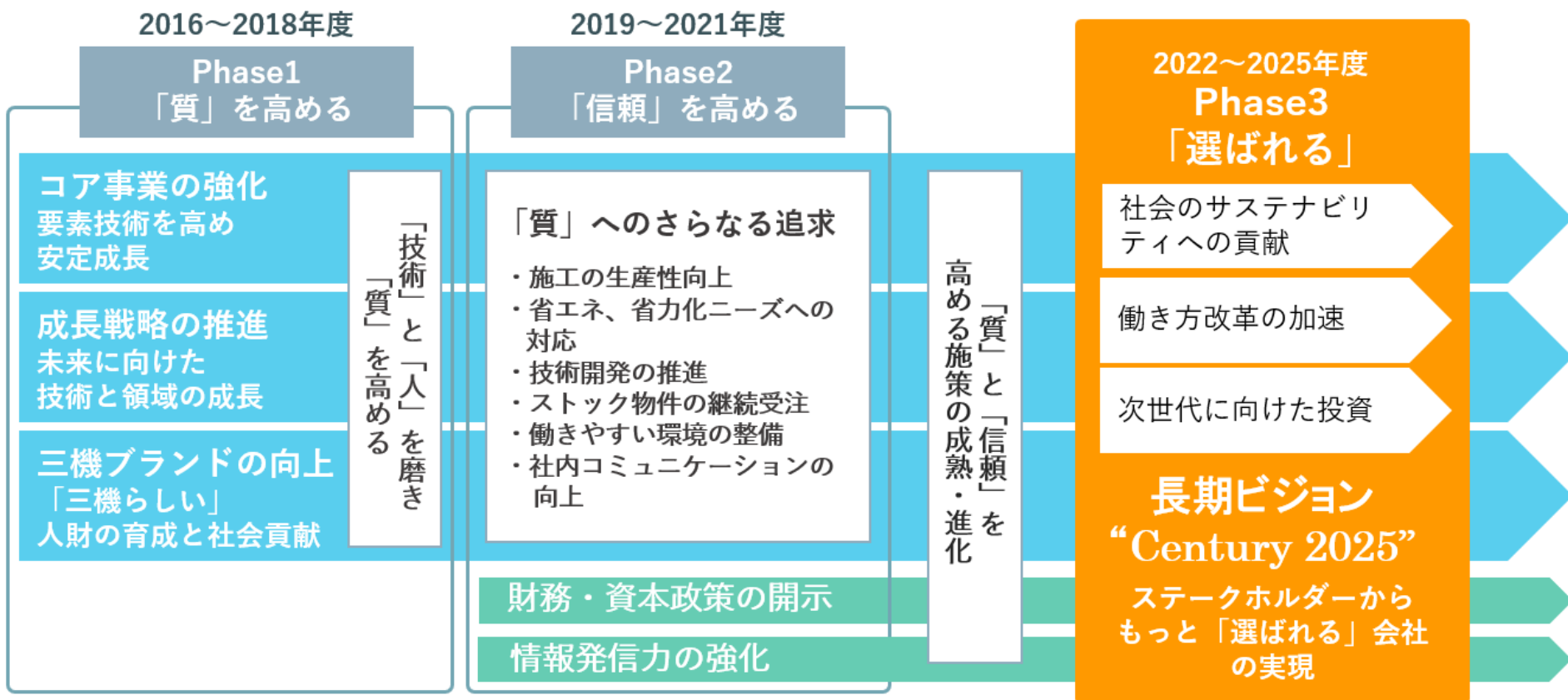
“Century 2025” Phase3 2022年度第2四半期

2022年11月11日

カイトキを
カタチに。



Phase3は、長期ビジョン“Century 2025”の総仕上げとなる中期経営計画として、これまで取り組んできた「質」と「信頼」を高める施策をさらに成熟・進化させるとともに、新たな3つの施策「社会のサステナビリティへの貢献」「働き方改革の加速」「次世代に向けた投資」によって「選ばれる」会社を実現します。



【注記】 Phase2の施策にあった「ESG方針」は、Phase3で「サステナビリティ方針」に進化しました

Phase3の業績目標



年度	Phase1			Phase2			Phase3	
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2025
売上高	1,685	1,701	2,123	2,076	1,900	1,931	2,000	2,200
売上総利益 (率)	225 (13.4%)	250 (14.7%)	316 (14.9%)	321 (15.5%)	287 (15.1%)	302 (15.6%)	315 (15.8%)	360 (16.5%)
経常利益 (率)	68 (4.1%)	74 (4.4%)	112 (5.3%)	112 (5.4%)	81 (4.3%)	98 (5.1%)	100 (5.0%)	120 (5.5%)

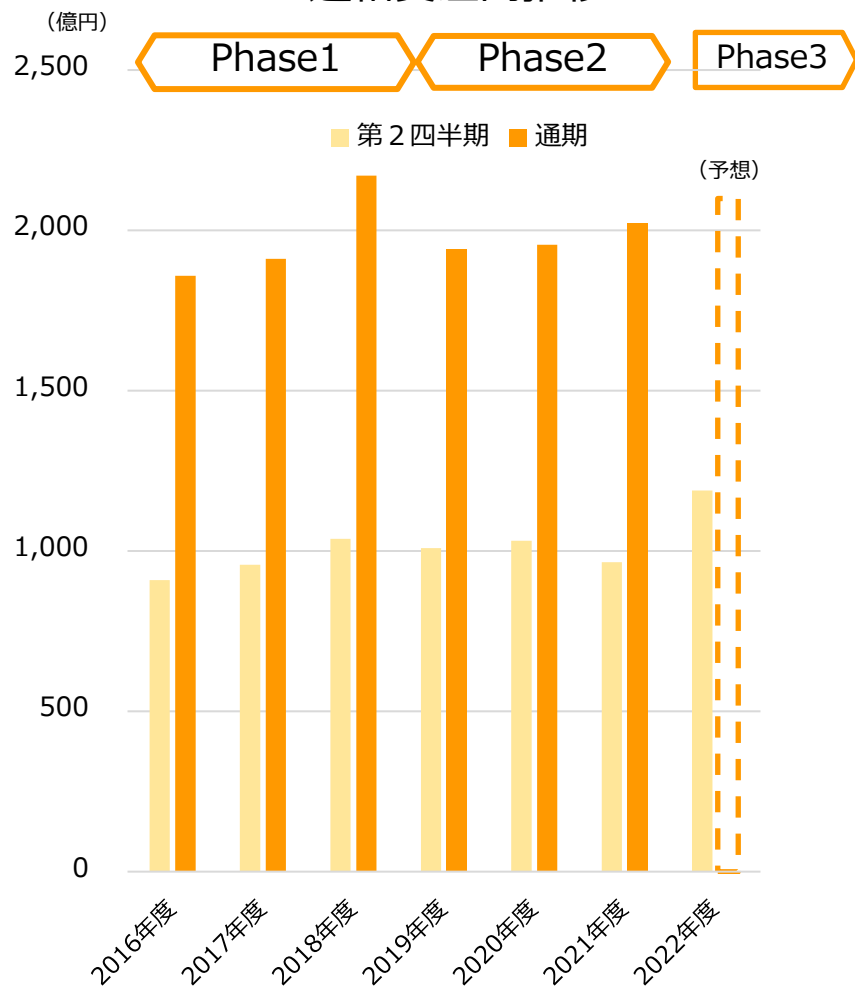
Phase3 経営目標	
経常利益率	5.0%以上
配当方針	配当性向 50%以上 1株当たり年間配当金 70円以上
自己株式取得	500万株程度※
ROE	8.0 %以上
成長投資	200億円程度※

※計画期間中の累計

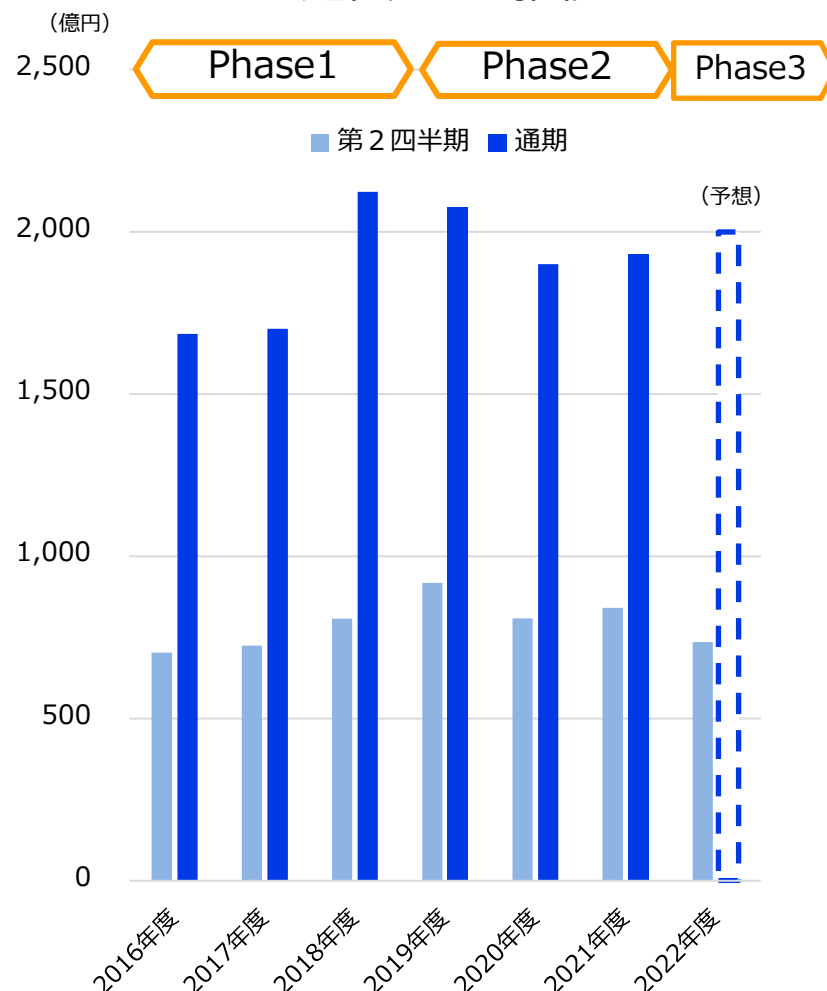
Phase3(2022～2025年度)におけるKPI

建築設備事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工後5年以内のトラブル・クレームの真因分析の実施：100%、真因分析結果の報告：4回／年 ● 施工関連デジタル・ロボット技術の開発：5件／年、開発事例導入：5件／年
ファシリティシステム事業	<ul style="list-style-type: none"> ● コンサルティング／設備エンジニアリング受注：4億円 ● NeWSICT (Next Work Style with ICT) 関連受注：5億円 ● コンサル関連を契機にしたプロジェクトマネジメント・工事受注：21億円
機械システム事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ロボットシステム売上高：累計50億円
環境システム事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 受注累計：エアロウイング36億円、G3脱水機20億円、過給式流動炉2基
E (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope1, 2：2020年度排出量比40%減 ● Scope3：2020年度排出量比10%減 ● SANKI YOUエコ貢献ポイントによるCO₂削減量(2018～2020年度3年平均比)：30%増
S (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ● 育児休業取得率：男性50% 女性100% ● 2026年4月 女性管理職比率：3.0%
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代に向けた投資(脱炭素技術、自動化・省力化技術、LCE事業、DX)：200億円

連結受注高推移

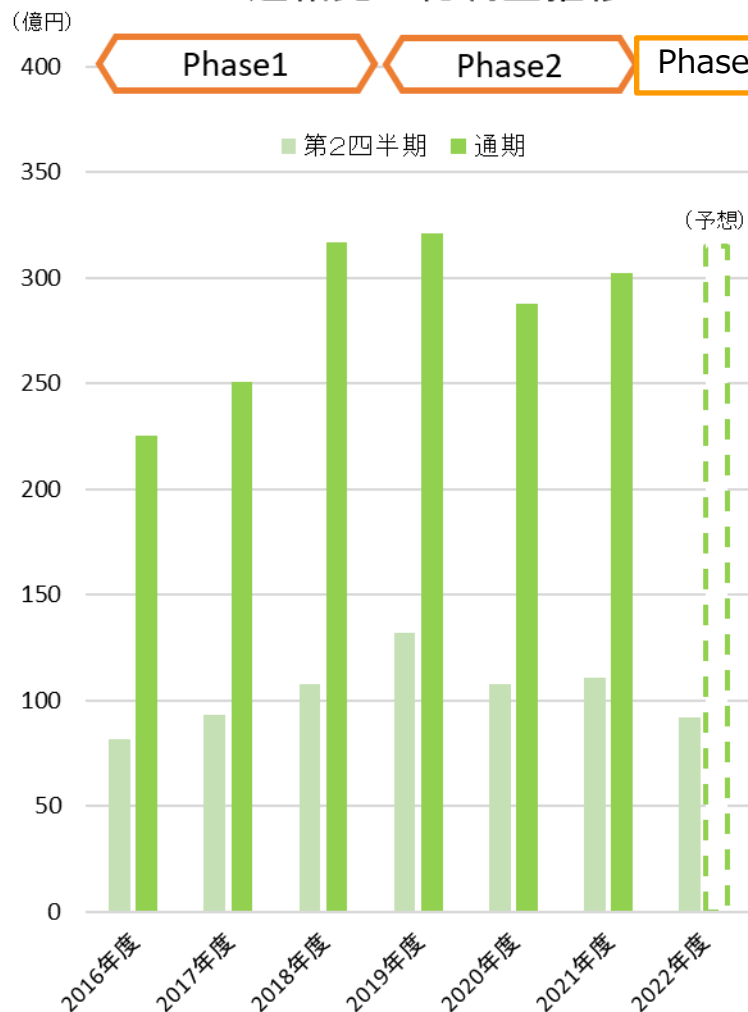


連結売上高推移

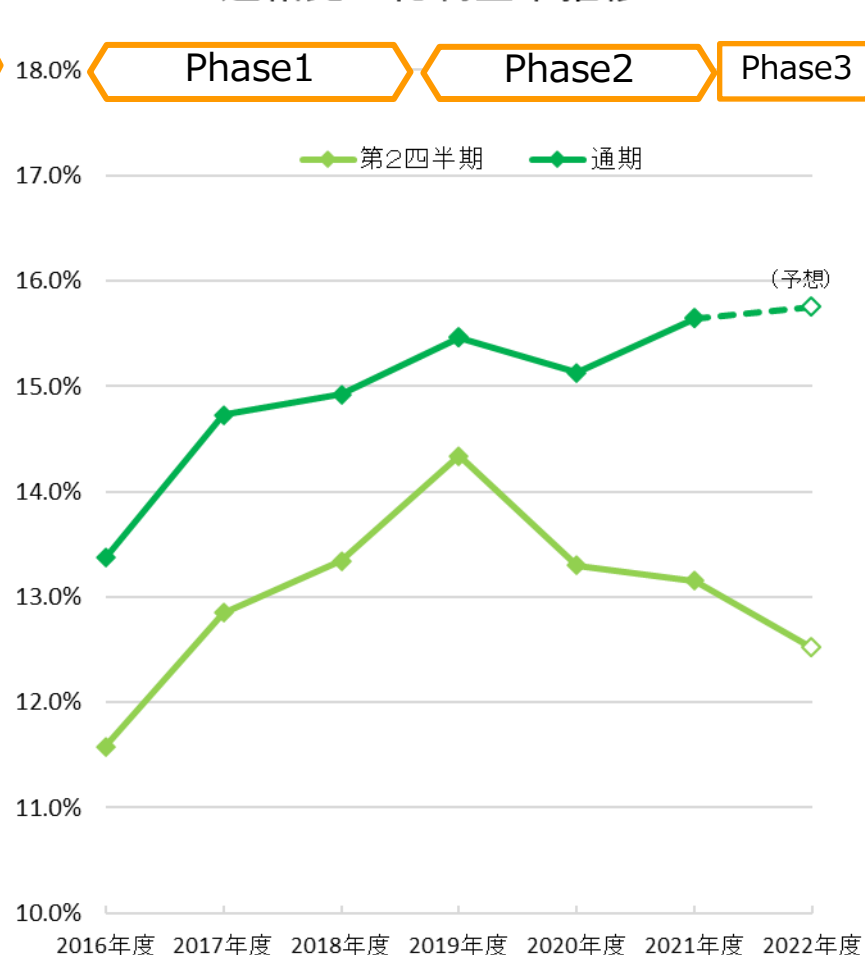


売上総利益・売上総利益率の推移

連結売上総利益推移



連結売上総利益率推移

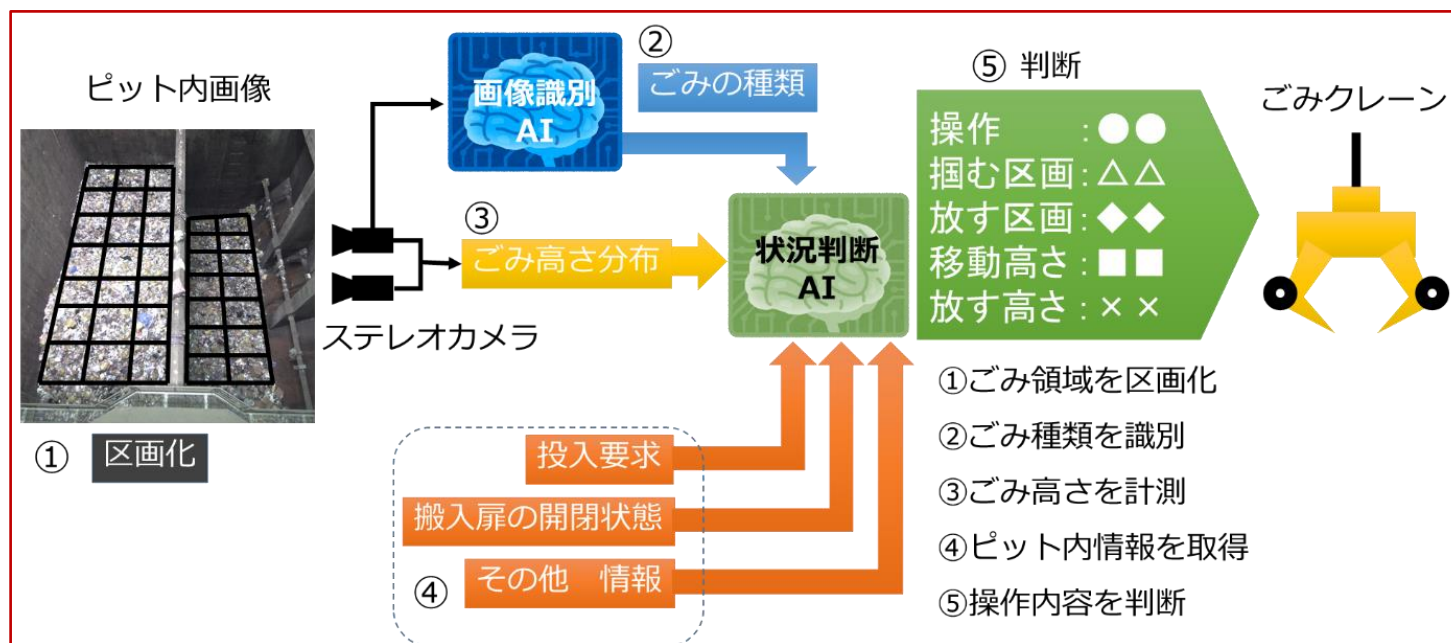


◆ 技術開発

● 「AIごみクレーンシステム」をクリーンヒル天山に納入

この度開発したAIごみクレーンシステムは、まずステレオカメラによりごみが貯留されたピット内の画像を区画化し、ごみの種類と高さをそれぞれ画像識別AIと状況判断AIによりリアルタイムに認識。ごみの投入要求や搬入扉の開閉状態を情報として与え、クレーンをどのように操作するか判断・指示します。画像識別AIについては国立研究開発法人産業技術総合研究所と共同開発しました。

当システムの導入により、作業員の作業負荷を大幅に削減し、夜間のクレーン操作を手動でおこなった場合に比べ約60%の省力化を実現。効率的でかつ安定的な運営管理を確立することができます。



AIごみクレーンシステムの概念図

◆サステナビリティ

- TCFD提言に基づく情報開示
- 2022年度夏期特別合同安全衛生パトロール
- 三機工業グループ人権方針開示
- 環境保全活動「三機の森」、「感謝の森」下草刈りイベント



当社創立90周年を記念して2015年より継続的に植樹・育樹活動を行っている「三機の森」と2020年に『SANKI YOUエコ貢献ポイント』制度の発足10周年を記念して生まれた「感謝の森」は認定NPO法人環境リレーションズ研究所（鈴木敦子理事長）と地元の中央森林組合の皆様の協力を得て植樹・保全をおこなっております。



● 「キャリアリターン制度」を新たに開始

当社は、中期経営計画“Century2025”Phase3の重要施策の一つとして、「選ばれる会社」になるための人事制度をテーマとしています。これまでに、65歳までの定年延長、管理職のラインマネジメントの強化、初任給や各種手当の見直しなどを実施しました。

今回、より多様な人材が活躍できる環境整備や従業員の柔軟なキャリア形成を可能とするためジョブリターン制度を見直し、従来、退職事由が出産、育児、介護または配偶者の転勤など制限があったのに対し、キャリアリターン制度では、退職事由が自己都合によるものも含めるなど、制限を大幅に緩和しました。

◆ガバナンス

- 東京証券取引所「プライム市場」へ移行
- 役員報酬制度見直し 「譲渡制限付き株式報酬」導入
- 取締役会の多様性推進 当社初の「女性取締役」選任

◆その他のトピックス

- 新人事制度導入 定年を65歳に延長、若手の積極登用、初任給アップ

- ユニフォームをリニューアル 働きやすい環境づくり

これまでのユニフォームに対しては生地やポケットの位置・サイズなど、様々な意見や要望がありました。そのため、検討プロジェクトチームを立ち上げ、社員の声を採用した機能性・安全性の高いデザインを数パターン作成。社員のニーズを幅広く丁寧に収集し決定しました。



- 機械システム事業で「国際物流総合展2022」に新製品を出展

リバースソータ™

省スペース型
高速仕分装置



メリス・ビアンカ™

搬送ロボット



2050年の
姿

「選ばれ続ける三機へ！」

カーボンニュートラルなど、
さまざまな社会課題に対して
快適環境を創造するエンジニアリングで
答えを出し、サステナブルな世界の
実現に貢献する企業でありたい

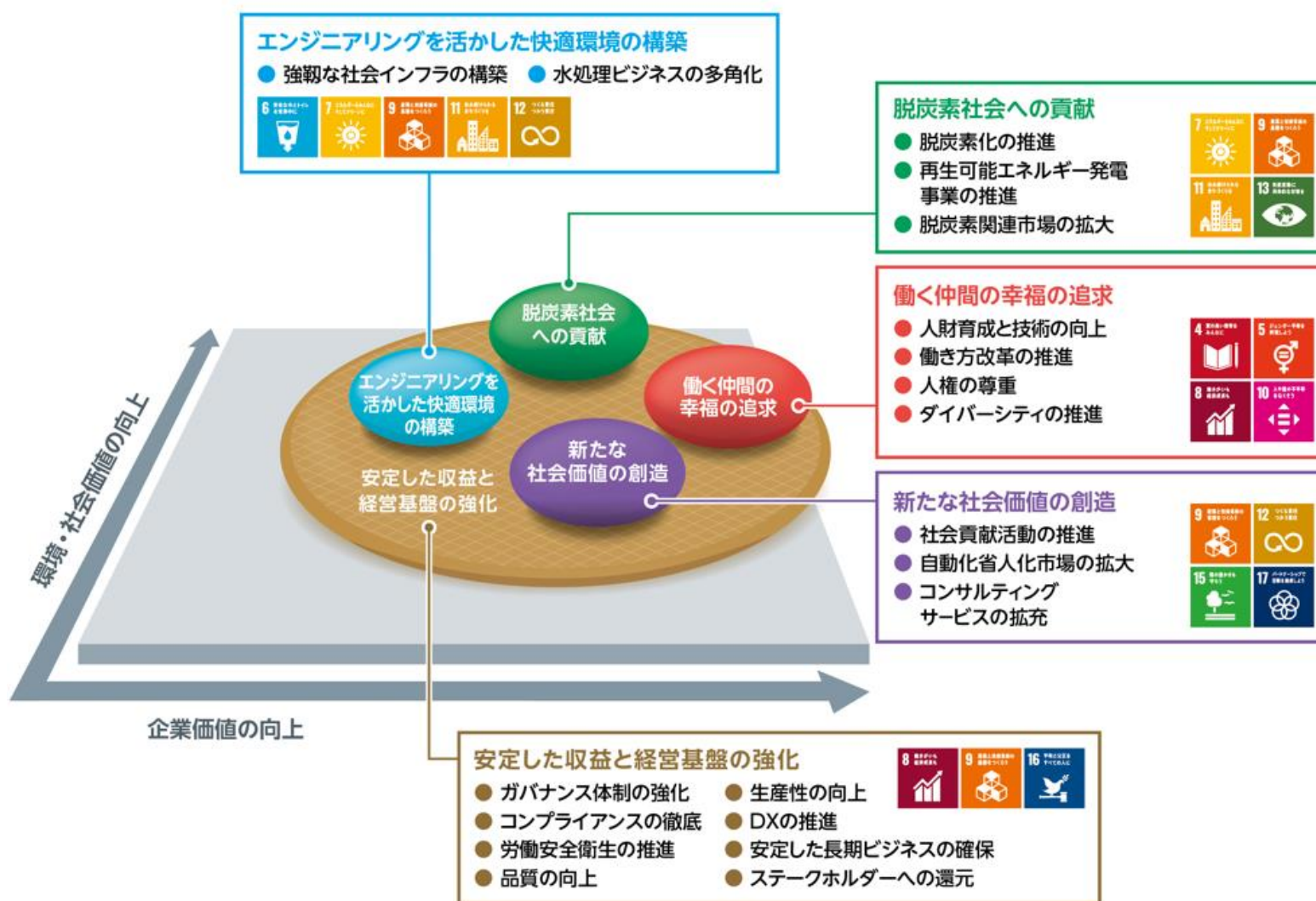
- サステナビリティ経営の推進
- サステナビリティ方針の策定
- マテリアリティ（重要課題）の決定



「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し、広く社会の発展に貢献する」
ことにより、強靱な経営基盤と
持続可能な社会の実現を目指します

SANKIカーボンニュートラル宣言

三機工業グループは、世界が直面する気候変動問題に真摯に取り組み、
グループ自らの温室効果ガス排出量（Scope1,2）においては2030年までに、
サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量（Scope1,2,3）においては
2050年までにカーボンニュートラルを目指します。



カイツキを サステナブルに。



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、11月11日時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります

本件に関する問い合わせ先

 **三機工業株式会社**

経営企画室広報・IR部

Tel : 03-6367-7041